



一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 会報

静臨技ニュース

第 431 号

発行所／(一社)静臨技渉外広報部 〒422-8062 静岡市駿河区稲川 1-1-15 ヴィラセーユー稲川 207

TEL.054(287)6337 FAX.054(287)4113

発行者／羽切 政仁 編集責任者／高橋 詩帆 発行日／2026 年 2 月 1 日

2 月号の内容



- ◆ 日臨技デジタルブックについて P1
- ◆ 第 13 回静岡県医学検査学会 開催のお知らせ P2
- ◆ 会員投稿 P3
- ◆ 静臨技学術部より重要なお知らせ P4
- ◆ 臨床検査関連研修会 P5-6
- ◆ 行事予定 P7

日臨技デジタルブックについて

日臨技デジタルブック「医学検査」、「JAMT magazine」が日臨技ホームページから閲覧できるようになりました。

世界的な課題となっている環境負荷への配慮やデジタルデバイスの普及による会員の利便性向上等を総合的に検討した結果、第 75 巻第 1 号（2026 年 1 月発行）より、会誌『医学検査』を紙媒体による発行からデジタルブック形式に移行することとなりました。（日臨技ホームページより（お知らせ）抜粋）

JAMT | 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会



JAMT マガジン JAMT Magazine

会員専用ページ、

STEP.1
下のバナー(左図参照)から
会員専用ページにログイン後

STEP.2
会員専用ページ内、
上部のバナー(左図参照)から
閲覧できます。

JAMT マガジン

医学検査 Japanese Journal of Medical Technology

医学検査・
デジタルブック、

下のバナー(左図参照)から
医学検査のデジタルブックを
閲覧できます。

会員専用ページ

入会・再入会 >

パスワード再発行 >

デジタル会員証 >

学会・研修会
受付専用サイト
※行事受付担当者専用 >

研修会・学会検索
事前申込

医学検査・
デジタルブック >

第13回静岡県医学検査学会 開催のお知らせ

「学びを力に、力を自信に！」

開催概要

【開催日】 2026年6月13日（土）13：30～

【開催場所】 あざれあ大ホール

【主 催】 一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会
学 会 長： 高橋 詩帆 （静臨技 副 会 長）
実行委員長： 岩崎 佐知子 （静臨技 東部支部長）

演題募集

会員の皆様から演題を広く募集します。

若手の皆様へ、今後の本格的な学会発表に向けての登竜門として、積極的にお申し込み下さい！

【演題申込期間】 2026年2月1日（日） ～ 2026年3月1日（日）

【抄録提出期限】 2026年3月23日（月）

抄録要項については、演題受領後にメールにてご案内させていただきます。

【演題申込方法】

下の二次元バーコードを読み込み 申込フォームからお申し込みください。

メールアドレスの入力間違えには充分ご注意ください



<https://forms.gle/HnukK9Rgzk3ppcW66>

※学会終了後、意見交換会を計画しています。

ウイスキーの味にハマっています

浜松医科大学附属病院 匿名希望

最近、ウイスキーにどハマりしています。大麦を発酵させて蒸留し、木の樽で熟成させて作るウイスキーは、同じように樽で熟成されるワインや日本酒とは、また違う魅力があるのです。

ウイスキーの場合は、様々な種類の樽を使い分けるところがポイントで、木材の種類や樽の内側を焼く加工をしたり、前にシェリー酒の入っていた樽を使ったりして、様々な風味づけをして、とても複雑な風味に仕立てられます。樽での熟成期間は最低でも3年から12年、長いものは30年。12年前や30年も前に「美味しくなーれ」と樽に仕込んでくれた職人さんがいたからこそ、今、こうやって私が美味しいウイスキーを飲むことができるんですよね。とてもロマンチックです。

私も、そんなウイスキー職人のように、何か未来の人に役に立つ仕事ができたらなあ、と思ってやってきましたが、目に見えた成果を出せないまま、もう定年が見えてくる年齢になってしまいました。まだ少しだけ時間は残されていますので、最後にもう一踏ん張りして頑張りたいと思います。



静臨技 学術部より重要なお知らせ

新システム「Menergia（メネルジア）」導入と説明について

※本システム導入により従来、研修会参加申込時に行っていた JAMT システムからの参加申込登録は不要となりました！！

研修会検索は、JAMT 会員専用ページから検索せず、研修会・学会検索 事前申込から検索し、研修会開催案内 PDF を開示 ⇒ イベント URL から参加申し込みを行ってください。

(会員様側の導入メリット)

① オンラインで簡単決済（クレジットカード支払いが可能となります！）

※従来では研修会参加申込後の参加費振込は、金融機関 ATM などに足を運び入金していました。その際、手数料も自己負担で発生していました。クレジットカード払いの場合、手数料の発生がなくなります。

② 研修会参加領収書発行が任意で出力可能

※Web 型研修会に参加し参加領収書を希望する場合、運営者側へ申し出る必要がありましたが、いつでも領収書ダウンロードが可能となります。

③ イベント参加履歴や開催予定の一元管理可能

※参加予定イベントや研修会内容の確認がメネルジアマイページからすぐに閲覧可能です。

【重要！】 会員様向けシステム利用について

静臨技では 6 月以降開催案内する研修会から、新システム「メネルジア」を使用しております。会員様向け研修会参加登録手順は、静臨技ホームページに掲載されていますのでご参照ください。

なお、研修会参加申込についての手順等について、ご質問のある場合には下記連絡先へご連絡下さればご対応致します。

(連絡先)

静岡県臨床衛生検査技師会 学術部長 原 宜紀

Mail : kensa-hara.smz@shizuokakouseiren.jp

研修会終了報告

事業名	令和7年度 第4回臨床生理部門研修会
開催日	2025年12月20日
会 場	静岡県産業経済会館 第1会議室+Web会場（Cisco Webex）
参加人数	63人
内 容	<p>第4回臨床生理部門研修会を静岡県産業経済会館にて実施しました。</p> <p>今回は、神経伝導検査のハンズオンセミナーをハイブリッド方式で開催しました。講師には、刈谷豊田総合病院の西脇啓太技師を招き、前半部分で神経伝導検査の基本戦略として、神経伝導検査の基礎知識、神経の走行と電極装着位置、押さえておきたいピットフォールなどをわかりやすくご講演いただきました。後半部分では、神経伝導検査のハンズオンセミナーとして、上肢および下肢の運動神経、感覚神経を対象とした神経伝導検査の実技を実施しました。電極装着のポイントや刺激位置の確認方法、記録波形の見方、実際の検査で遭遇しやすいピットフォールなどについて、非常にわかりやすく実演していただきました。</p> <p>今回の研修会は、神経伝導検査の基礎から実践まで体系的に学べる内容となり、参加者の技術向上に大きく貢献できたと感じています。今後も臨床現場で求められる知識・技術の習得を目的とした研修会を継続して開催していきたいと思います。また、一次的な音声トラブル等でご迷惑をおかけした点につきましては深くお詫び申し上げます。</p> <div data-bbox="359 1198 858 1570">  </div> <div data-bbox="359 1601 858 1973">  </div>

タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会

静岡県開催のお知らせ

(重要事項)

静岡県内での開催は本講習会をもって最後になる可能性がございます。
未受講の会員様におかれましては、参加へのご検討をお願いします。

日 程	令和 8 年 3 月 1 日 (日) 受付時間：09：30～10：00 開始時間：10：00～17：50
会 場	ふじのくに千本松フォーラム プラサヴェルデ 401・402・407 会議室 (静岡県沼津市大手町 1-1-4 TEL：055-920-4100)
申込期間	令和 7 年 12 月 1 日 (月)～令和 8 年 2 月 1 日 (日) ※基礎講習を履修することで実技講習への参加申込が可能となります
入金期間	令和 7 年 12 月 1 日 (月)～ 令和 8 年 2 月 19 日 (木) ※支払選択における払込票の選択期限は開催 20 日前となります。
募集人員	60 名
受 講 料	会員 15,000 円 / 非会員 40,000 円 (資料代含む)
申込方法	日臨技ホームページの「指定講習会専用ページ」から申し込みください。
そ の 他	詳細は、日臨技ホームページの「指定講習会専用ページ」および 静臨技ホームページの「お知らせ」をご確認ください。
注意事項	締切日までに募集人数が 50 人に満たない場合は中止とします。 ご了承ください。
問合せ先	一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会 担当 TEL：03-5767-5541 (直通) E-mail： task-shift2@jamt.or.jp

2026 年 2～4 月の行事予定

2026 年

2 月

- | | | |
|-----------|---------------------|----------------|
| 4 日 (水) | 浜松市衛生検査所精度管理責任者等研修会 | : Web |
| 8 日 (日) | 第 25 回静岡血液フォーラム | : グランシップ |
| 14 日 (土) | 第 3 回病理細胞部門研修会 | : Web |
| 14 日 (土) | 中部圏支部臨床生理部門研修会 | : ウィンク愛知 (愛知県) |
| ～15 日 (日) | | |
| 22 日 (日) | 第 3 回臨床一般部門研修会 | : Web |
| 28 日 (土) | スタートアップ研修会 | : ARTIE Bolo |

3 月

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 27 日 (金) | 第 6 回理事会 | : 静臨技事務所 |
|----------|----------|----------|

4 月

- | | | |
|----------|----------------|----------|
| 8 日 (水) | 第 1 回精度管理委員会 | : Web |
| 11 日 (土) | 令和 7 年度会計監査 | : 静臨技事務所 |
| | 令和 8 年度学術部門長会議 | : あざれあ |

☆ 会員投稿募集 ☆

技師会では会員の皆様の原稿を募集しています。ジャンル等は問いません。

※採用された方には粗品を進呈いたします。

ご意見・ご要望・情報等もお待ちしております。

渉外広報部（編集責任者）高橋詩帆まで。E-mail : kensaka.kna@shizuokakouseiren.jp

☆ 求 人 情 報 ☆

（一社）静岡県臨床衛生検査技師会では、ホームページに求人情報の掲載を行っています。

求人情報掲載の申し込み方法等のお問い合わせ先

〒438-8550 磐田市大久保 512-3 磐田市立総合病院 久留島幸路まで。

E-mail : osigoto@samt.or.jp

TEL : 0538-38-5000

情報変更の手続き等について

新入会登録や、会員情報・登録施設情報（名称・連絡先）に変更がある場合、日臨技へ申請をお願いします。（日臨技 HP ; 入会・退会・会員情報の変更参照）

責任者・連絡責任者・施設連絡用 E-mail アドレスを登録・変更する場合、静臨技事務所へ連絡をお願いします。（静臨技 HP ; 各種申請書を参照）

静臨技賛助会員入会申請 や、賛助会員情報（担当者・連絡先）に変更がある場合、静臨技事務所へ連絡をお願いします。（静臨技 HP ; 賛助会員のご紹介ページの賛助会員登録申請書を参照）

お問い合わせ先：（一社）日本臨床衛生検査技師会 <http://www.jamt.or.jp/>

（一社）静岡県臨床衛生検査技師会（担当：組織部）

TEL : 054-287-6337 FAX : 054-287-4113 E-mail : samt.jim@samt.or.jp

年度末で退会を希望される方へ

退会手続きを1月31日までにを行った場合は、2月27日に来年度の会費の引き落としは行われません。

2月1日以降に退会手続きを行った場合は、2月27日に来年度の会費が引き落とされますので、3月31日までに返金手続きを行ってください。（3月31日までに退会手続きが済んでいない場合は、返金が出来ません。）

令和元年の日臨技定時総会で日臨技加入条件に「都道府県技師会の加入が条件」として可決されたため、都道府県技師会を退会し日臨技のみ継続することが出来なくなりましたので、ご注意ください。

日臨技・静臨技共に退会される場合は、日臨技ホームページの「会員専用ページ」にて日臨技と静臨技の両方を同時に退会処理してください。日臨技だけの退会処理では、静臨技を同時退会した事にはなりませんのでご注意ください。

2026年2月吉日

編集後記

皆さま、お疲れさまです。

最長寒波が居座り、日本海側では大雪、今週は東京でも雪予報が出ています。皆さまの地域はいかがでしょう。私が小学生の頃(ちょっと昔)は、三島市でも雪が積もり、校庭で雪合戦をした記憶があります。最近「寒い寒い」と言いながらも、雪が積めることは少なくなりましたね。今日の生理検査中も患者さんとそんな話題になり、「昔の方が寒かったよね」「霜柱も見なくなったね」と、やはり温暖化を感じます。

とはいえ、やっぱり寒い。

今のルーティン！夜は寒さに弱い植物を軒下へ避難させ、不織布をかけ、朝は日向へ戻す。メダカ桶の氷を確認し、凍っていないか見回り、乾燥した鉢には水やり。氷の下でゆっくり泳ぐメダカや、ゆらゆら動く出目金を見ると、寒さの中でも少し楽しい時間です。

さて、もう2月。年度末に向け忙しくなりますが、新年度には静岡県医学検査学会が開催されます。

若い技師の登竜門として

「学びを力に、力を自信に！」と題しました。若い皆さんはぜひ発表に挑戦し、次のステップへ。少し若くない(笑)皆さんは、若手の背中を押し、支えてください。会員の皆さまで学会を盛り上げていけたらと思います。

最後に、編集後記は空いたスペースにちょこっと書くスタンスのつもりでしたが、隙間が無かったのでページを増やして書いてしまって申し訳ございません。(高橋)